

ハートの日 1000人集う

心臓病予防に市民関心

徳光アナが発症体験披露

「第11回ハートの日」(同実行委員会主催)のイベントが10日、豊橋市藤沢町のホテル日航豊橋で開かれた。今年には「心臓病を予防しよう」をテーマに行った。東海日日新聞社など後援。



自身の体験を振り返る徳光和夫さん

(ホテル日航豊橋で)

循環器疾患への正しい知識の普及・予防と健康作りを呼びかけ、充実した毎日を送ることの重要性を考えようと開催。会場では、健診をはじめ救急蘇生法講習会、コンサート、講演会や座談会などを繰り広げ、約1000人が来場した。

講演会は、フリー

アナウンサー・徳光

和夫さんが登場し、01年に発症した心筋梗塞(こうそく)の体験談について話した。徳光さんは、仕事の打ち合わせ中に体調が悪くなった。発症から手術までが約16時間で、普通なら、命を落としていたと振り返った。それまで関心のなかった健康に対して意識するようになったと

同時に「助かった」でなく、「助けられた」、「生きている」より「生かされている」を、大病をしてからの座標軸にしていると話した。また、医者にかかる習慣をつけてほしいと呼びかけた。(小柳幸子)